

東京大学グローバル教育センター
ウェブサイト

<https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/index.html>



東京大学 海外留学情報
(Go Global ウェブサイト)

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html>



University-wide Student Exchange Program (USTEP)
ウェブページ

<https://www.u-tokyo.ac.jp/en/academics/ustep.html>



UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC)
ウェブページ

<https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/guc.html>



UTokyo Amgen Scholars Program
ウェブページ

https://www.u-tokyo.ac.jp/en/prospective-students/amgen_program.html



グローバル教養科目(GLA)
ウェブページ

<https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/globalliberalarts.html>



国際総合力認定制度(Go Global Gateway, GGG)
ウェブサイト

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-gateway/ja/index.html>



東京大学 留学生支援
ウェブサイト

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/inbound/ja/>



東京大学グローバル教育センター 日本語教育部門
ウェブサイト

<https://globe.u-tokyo.ac.jp/nkc/ja/index.html>



東京大学グローバル教育センター
2023年度活動報告

発行 2025年1月

編集発行 東京大学グローバル教育センター
113-8654 東京都文京区本郷7-3-1

Email intl-edu.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

URL <https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/index.html>

東京大学グローバル教育センター 2023年度活動報告



CONTENTS

3	巻頭言
4	沿革・組織図
5	各部門の概要
6	運営体制
7	グローバル教育センター メンバー
8-11	2023年度の活動のハイライト
12-13	全学交換留学（USTEP）協定校一覧
14-15	国際交流部門（東京大学からの学生派遣）
16-19	国際交流部門（海外大学等からの学生受入）
20-21	国際教育部門
22-27	国際支援部門
28-29	日本語教育部門
30-31	駒場支部
32-33	柏支部
34	[参考統計資料] 東京大学全体の学生の国際的流動性
35	[参考統計資料] 東京大学全体の外国人留学生数



東京大学理事・副学長
林 香里

これからの東京大学にとって、「グローバル」と「ダイバーシティ」はその教育と研究に欠かせない要素です。

私たちは、国内のみならず世界中から人びとが集い、さまざまな価値観を交差させるキャンパスを築かなければなりません。そうすることで新しい発想と理解が生まれ、皆が力を合わせてより良い世界を実現していくことが可能になります。

そのために東京大学では藤井輝夫総長のもと、2023年にグローバル教育センター（GlobE）を、そして2024年には多様性包摂共創センター（IncluDE）を学内共同教育研究施設として創設しました。

GlobEは教育を通して学生のグローバルな視点を育みます。キャンパス内外での留学生との学びや交流から短期や長期の海外派遣プログラムにいたるまで、さまざまな活動を提供します。従来から関係の深い東アジアや欧米に加え、東南アジア、オセアニア、南アジア、中東、アフリカの地域との交流に力を入れています。

この報告書は記念すべきGlobEの初年度を振り返るとともに、これからの活動を考えるためのものでもあります。GlobEがいつそう、グローバルな東京大学の原動力となるよう願っています。



東京大学副学長・
グローバル教育センター長
矢口 祐人

2023年はグローバル教育センター（GlobE）誕生の年でした。ですからこの報告書は記念すべき創設の1年を振り返るものです。

GlobEの構想は2021年にさかのぼります。4月に着任した藤井輝夫総長と林香里理事・副学長（国際/ダイバーシティ担当）のもと、すべての学生のグローバル化に寄与する全学組織の計画が進められ、2年越しに実現しました。

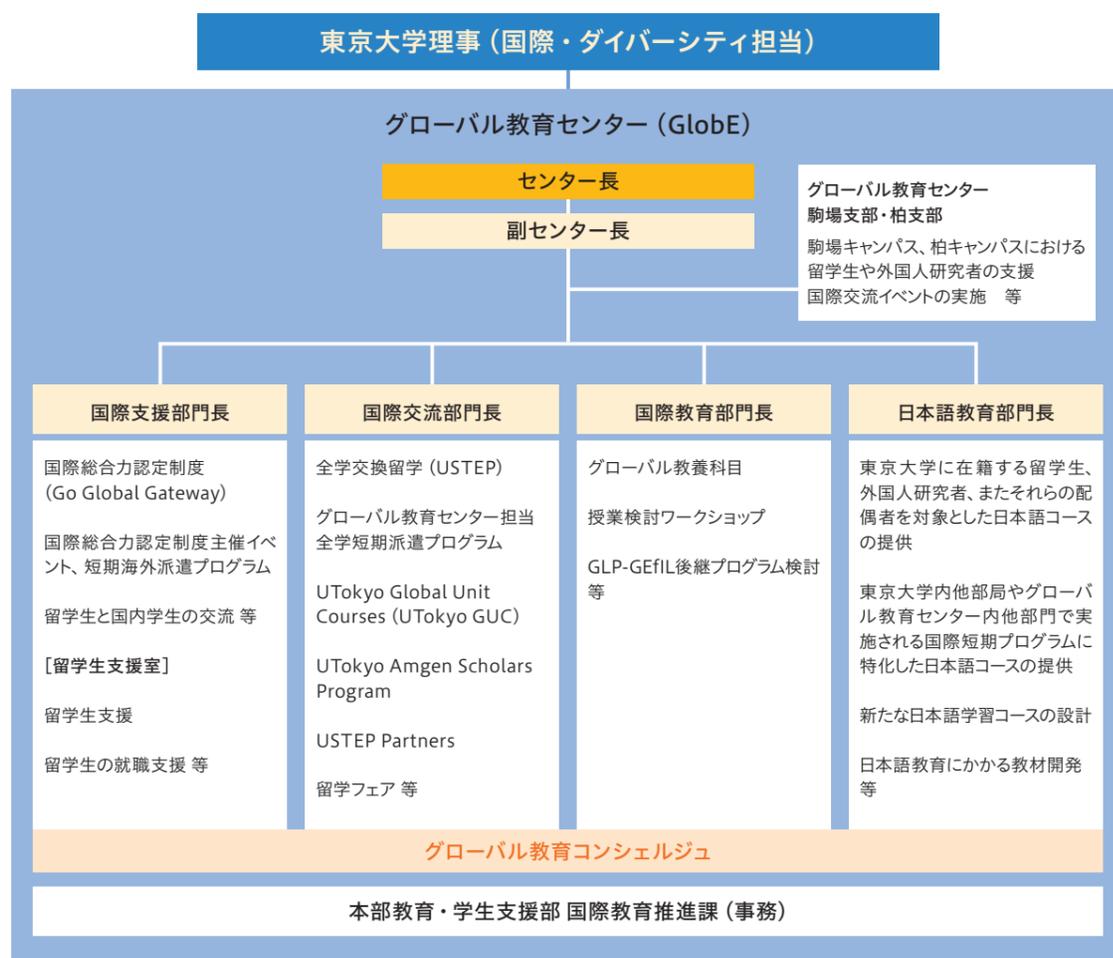
それまであったグローバルキャンパス推進本部の業務の多くを引き継いだとはいえ、学内共同教育研究施設としては新しい出発で、初年度は試行錯誤の連続でした。職員と教員が手を結び、さまざまな課題を共に考え、グローバルな教育機会の拡充に努めました。

なかでもすべての後期課程学生を対象とするグローバル教養科目の創設は画期的でした。留学生と東京大学の学生がSDGsのトピックを中心に共に英語で考えるこの授業は、キャンパス内でのグローバルな学びの機会を大きく広げました。加えて国際総合力認定制度（Go Global Gateway）の拡充、世界のトップリーダーと東京大学の総長や理事との対話から学ぶDialogue at UTokyo GlobEシリーズ、海外の学生向けの有料サマースクール（UTokyo Global Unit Courses）など、これまでの東京大学にはなかった企画が次々と始まりました。もちろん、従来の全学交換留学（USTEP）や短期海外派遣プログラムなども充実化されました。

いちばんの思い出は10月に行った開所式です。国際協力機構（JICA）理事長の田中明彦先生（前東京大学国際担当理事）に基調講演をいただき、さらに交換留学生として東京大学で学んだ経歴を持つ歌手のサラ・オレインさんにすばらしい歌声を披露していただきました。たくさんの方々がお越しくださり、GlobEへの期待を強く感じることができました。

GlobEはこれからも東京大学のすべての学生がグローバルな体験を通して新たな価値観に出会い、視野を広げられるよう努力していきます。

年月	内容
2005年4月	国際連携本部を設置
2010年4月	留学生センター、国際連携本部を再編・統合し、国際本部を設置。国際本部のもとに国際センターおよび日本語教育センターを設置。
2012年4月	国際本部のもとにグローバル・キャンパス構想推進室を設置
2014年10月	スーパーグローバル大学創成支援事業開始 グローバル・キャンパス構想推進室を改組し、グローバル・キャンパス推進室を設置 グローバル・キャンパス推進室のもとに企画広報部門、教育推進部門、学生交流部門を設置
2017年4月	企画広報部門、教育推進部門、学生交流部門を改組し、企画戦略部門、教育学生部門を設置
2018年4月	国際本部を改組し、グローバルキャンパス推進本部を設置 グローバルキャンパス推進本部のもとに国際企画戦略室、国際化教育支援室、日本語教育センターを設置 国際総合力認定制度 (Go Global Gateway) を開始
2021年6月	UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC) の開講
2023年4月	グローバルキャンパス推進本部を廃止し、グローバル教育センター (GlobE) を設置 グローバル教育センターのもとに国際支援部門、国際交流部門、国際教育部門、日本語教育部門、駒場支部、柏支部を設置 グローバル教養科目 (Global Liberal Arts Courses) の開講



国際支援部門

グローバル・シチズン育成のため、グローバル教育コンシェルジュの基盤となる国際総合力認定制度を展開しています。学内外の多様な国際教育活動を糾合・可視化し、その実践を促すことで、学生の国際化を徹底的にサポートしています。今後は学生の国際的活動の幅をいっそう広げるため、卒業生ネットワークや産官との連携構築を図り、外部資金獲得にも繋げていきます。

また、急増する留学生への支援として、留学生支援室を設けています。これまで以上に留学生のための相談体制を強化し、さらに、卒業後の日本定着を見据えた就職支援なども拡充していきます。

国際交流部門

短期・超短期の派遣・受入の拡大を図っており、2023年度は600名近くにのぼる派遣、450名を超える受入を実現しました。交換留学や短期海外派遣プログラムに加え、有料の短期受入プログラム (UTokyo GUC) など、新しい多様なかたちの国際プログラムを整備し、東京大学の学生の派遣を促す一方、世界各地からの受入学生を増やしています。特に、国際支援部門で構築された産官等との連携をもとに、受入型の国際インターンシップ制度をUTokyo GUCなどの枠組みで制度化していきます。また、南アジア、東欧、アフリカなど従来、東京大学の学部学生の交流が非常に限られてきた地域に焦点をあてた「ブレイクスルー」型の国際交流の充実を図ります。

国際教育部門

2023年度5セメスターから、ジェンダー、ダイバーシティ、健康、貧困、GX (グリーントランスフォーメーション) 等のSDGs関連テーマを英語で学ぶ少数人数インタラクティブ授業「グローバル教養科目」の提供を開始しており、各学部の学生と交換留学生等が文理を横断した形で共に学ぶ環境を整えました。2023年度は「グローバル教養科目」を5セメスター^{*1}・Aセメスター^{*2}合わせて31科目提供しました。また、授業担当教員が参加する国際教育部門会議 (合計4回) を行い、授業テーマや成績評価、履修者数増加等に関する議論を行ったほか、教員による自発的な授業検討ワークショップも開催しました。加えて、お茶の水女子大学との包括協定に基づく共同実施授業の実現に向けた調整や、現行のGLP-GEFIL (Global Education for Innovation and Leadership) をグローバル教育センターに移管して実施する後継プログラムの検討を進めています。^{*1} 4月から7月まで授業を行う学期 ^{*2} 10月から翌年1月まで授業を行う学期

日本語教育部門

5,000名以上にのぼる留学生に加え、外国人研究者、またそれらの配偶者の日本語教育を展開しています。2023年度は約80コースを提供し、延べ受講者数は1,200名近くにのぼりました。学内の各キャンパスにまたがる構成員の多様なニーズに応えるべく、オンライン化と可能な時間やレベル、関心に合わせて参加しやすい短期コースやスポット講座を充実させる一方、東京大学内他部局やグローバル教育センター内他部門で実施される国際短期プログラムに対する特別な日本語コースの提供にも対応しています。今後は、入学前の留学生に対する有料の日本語コースの設計・制度化も進め、多様化を図ります。

駒場支部・柏支部

各キャンパスの留学生・研究者の支援を通じて4つの部門の活動を展開し、キャンパス全体のグローバル化を図ります。

グローバル教育センターでは、その運営のために以下の委員会を設置しています。

東京大学グローバル教育センター運営委員会

(組織、教員人事、教育、予算に関する各事項、その他センターの運営に関する重要事項)

● 構成員

委員長	矢口 祐人	副学長・グローバル教育センター長・大学院総合文化研究科教授
委員	林 香里	理事・副学長(国際、ダイバーシティ)
委員	太田 邦史	理事・副学長(教育、情報)
委員	中尾 まさみ	グローバル教育センター副センター長・特任教授(駒場支部担当)
委員	大西 晶子	国際支援部門教授・相談支援研究開発センター教授
委員	原田 麻里子	国際支援部門講師・相談支援研究開発センター講師
委員	小原 優貴	国際教育部門准教授
委員	Sam Bamkin	国際教育部門講師
委員	前原 かおる	日本語教育部門講師
委員	筒井 賢治	大学院総合文化研究科教授
委員	高鍋 和広	大学院工学系研究科教授
委員	大宮 勘一郎	大学院人文社会系研究科教授
委員	李 正連	大学院教育学研究科教授
委員	伊藤 耕一	大学院新領域創成科学研究科教授(柏支部担当)
委員	渡邊 聡	国際戦略企画室副室長・大学院工学系研究科教授
委員	君塚 剛	本部教育・学生支援部長

東京大学グローバル教育センター教務委員会

(グローバル教養科目群、国際総合力認定制度、短期の学生交流、日本語教育に関する各事項、グローバル教育センター運営委員会から付託された事項、その他全学の国際化教育に関する事項)

● 構成員

委員長	中尾 まさみ	グローバル教育センター副センター長・特任教授(駒場支部担当)
委員	小原 優貴	国際教育部門准教授
委員	Sam Bamkin	国際教育部門講師
委員	前原 かおる	日本語教育部門講師
委員	筒井 賢治	大学院総合文化研究科教授
委員	高鍋 和広	大学院工学系研究科教授
委員	大宮 勘一郎	大学院人文社会系研究科教授
委員	李 正連	大学院教育学研究科教授
委員	伊藤 耕一	大学院新領域創成科学研究科教授(柏支部担当)
委員	君塚 剛	本部教育・学生支援部長

所属	職名	氏名	所属	職名	氏名
グローバル教育センター	センター長	矢口 祐人	国際教育部門	特任講師	多田 恵里沙
グローバル教育センター	副センター長・特任教授	中尾 まさみ	国際教育部門	特任講師	Doris Zhang
グローバル教育センター	特任研究員	貴船 美波	国際教育部門	特任講師	Greg Dalziel
国際支援部門・相談支援研究開発センター	教授(兼務)	大西 晶子	国際教育部門	特任講師	Richard Dietz
国際支援部門・相談支援研究開発センター	講師(兼務)	原田 麻里子	国際教育部門	特任講師	Alexandra Terashima
国際支援部門・相談支援研究開発センター	特任講師(兼務)	伊藤 圭子	国際教育部門	特任講師	Erika D'Souza
国際支援部門	特任講師	下山田 翔	国際教育部門	特任講師	Christopher Nicklin
国際支援部門・相談支援研究開発センター	特任助教(兼務)	江 志遠	国際教育部門	特任講師	Naomi Berman
国際教育部門	特任教授	Tom Gally	国際教育部門	特任講師	John Pazdziora
国際教育部門	准教授	小原 優貴	国際教育部門	特任講師	Catherine Hansen
国際教育部門	講師	Sam Bamkin	国際教育部門	特任講師	Graham Peebles
国際教育部門	特任講師	Tito Akindele	国際教育部門	特任講師	Alex Bueno
国際教育部門	特任講師	Incoronata(Nadia) Inserra	国際教育部門	特任講師	船田 なつの
国際教育部門	特任講師	Eric Vanden Bussche	国際教育部門	特任講師	Jesús Alberto Pulido Arcas
国際教育部門	特任講師	Ian Wash	国際教育部門	特任講師	Simon Perry
国際教育部門	特任講師	Sylwia Ejmont	国際教育部門	特任講師	Candler Hallman
国際教育部門	特任講師	神島 智子	国際教育部門	特任講師	Anna Bordilovskaya
国際教育部門	特任講師	Isaac Tyrone Ghamson	国際教育部門	特任講師	Stefanie Mack
国際教育部門	特任講師	John Quayle	国際教育部門	特任講師	John Solomon Maninang
国際教育部門	特任講師	Aurora Tsai	国際教育部門	特任講師	Raquel Moreno-Penaranda
国際教育部門	特任講師	Liz Shek-Noble	日本語教育部門	講師	前原 かおる
国際教育部門	特任講師	Dennis Stromback	日本語教育部門	助教	芹川 佳子
国際教育部門	特任講師	Manuel Senna	日本語教育部門	助教	張 未未

2023年度の活動のハイライト

Dialogue at UTokyo GlobE

Dialogue at UTokyo GlobEは、東京大学のグローバル教育の一環として、学生が世界の著名なリーダーとの対話を通して国際理解を深め、グローバルな視座を広げるための対話シリーズです。海外からのゲストと東京大学の総長・理事らが学生と対話する形式を基本としています。2023年度は6回にわたって開催しました。

回	実施日	タイトル	講演者・所属*
1	2023年5月27日	Be the Change You Want to See: How Diversity of Perspectives Leads to Prosperity	加藤 美和 (国連薬物・犯罪事務所 事業局長)
2	2023年7月27日	The New Politics of Sustainable Development	Jeffrey D. Sachs (Director of the Center for Sustainable Development at Columbia University/ President of the UN Sustainable Development Solutions Network)
3	2023年10月19日	Explore Possibilities: How to Create Your Own Career Path	三戸 芳子 (米国マウントサイナイ医科大学客員助教授)
4	2023年11月9日	Empowered —Frame Your Narrative, Own Your Power—	Serena Sacks-Mandel (Microsoft 社 The Global CTO for Education)
5	2024年1月15日	Emotional Intelligence in the Lab, Workplace, and Classroom	Peter Salovey (イエール大学学長)
6	2024年2月16日	Start-ups and Higher Education	Ben Nelson (ミネルバ大学創設者)

*所属に関する情報は実施時のもの



グローバル教育センター開所式

2023年10月11日に、グローバル教育センターの開所式を開催しました。安田講堂での式典後には、レセプションが伊藤国際学術ホールで行われ、学外来賓・学内教職員・学生合わせて約160名が出席しました。

式典では国際協力機構（JICA）の田中明彦理事長による基調講演に加え、グローバル教育センターで行われた東京大学・アジア女性大学（Asian University for Women）学生交流プログラムのドキュメンタリー映像が上映されました。

レセプションでは、学生による留学体験スピーチに引き続き、特別ゲストであるサラ・オレイン氏にご登壇いただき、バイオリンの演奏と歌唱のパフォーマンスに万雷の拍手が鳴り響きました。その後立食パーティーでの歓談となり、盛況のうちに閉会となりました。



国際協力機構（JICA）の田中明彦理事長による基調講演



サラ・オレイン氏による歌唱のパフォーマンス



第4回 Empowered—Frame Your Narrative, Own Your Power—



第2回 The New Politics of Sustainable Development



第6回 Start-ups and Higher Education

グローバル教養科目 (GLA) の開設



グローバル教養科目 (Global Liberal Arts Courses, GLA) は、2023年度にグローバル教育センターが、全学部の後期課程学生 (3・4年生) と大学院学生、全学交換留学生 (USTEP生) 等を対象に開設した授業科目です。

授業はすべて英語で行われ、世界の喫緊の問題、特にSDGsに関連するトピック (ジェンダー、ダイバーシティ、健康、貧困等) について、ディスカッションなどのインタラクティブな活動を通じて学びます。

初年度となる2023年度は、Sセメスター 7科目、Aセメスター 24科目を開講し、累計294名が受講しました。受講生の約半数が全学交換留学生で、学問分野や国境等の境界を越えて共に学び、考えるための創造的な場の役割を果たしています。

今後も、多くの学生がアクセスしやすいように開講曜限や授業トピックの選択肢を拡充し、グローバル教育セ

ンターが掲げる「国際化教育の全学プラットフォーム」として、学生の国際感覚を育む教育機会を幅広く提供していきます。

▶ 詳細は pp. 20-21へ

Experience Excellence at UTokyo

— Graduates Discuss UTokyo at UTokyo NY Office
東京大学ニューヨークオフィスでの卒業生との対談イベント

Experience Excellence at UTokyo— Graduates Discuss UTokyo at UTokyo NY Officeは、世界中の高校生・学部学生・大学院学生を対象に東京大学の広報を行うことにより、東京大学への留学を視野に入れてもらい、優秀な学生の獲得に繋げることを目的として、2021年度に開始した、東京大学ニューヨークオフィスでの卒業生との対談イベントです。

2021年度と2022年度はZoom Webinarを用いて、ニューヨークオフィスのメイン会場と日本からの登壇者を繋ぎ、これを配信しました。また、第二部では本部国際交流課 (現・本部国際教育推進課) や学内参加部局等による個別相談会を開催しました。

また、2023年度はニューヨークオフィスでの対談の様子を動画撮影・編集し、プロモーションビデオとしてインターネット上で公開しました。



プロモーションビデオの
視聴はこちらから

https://globe.u-tokyo.ac.jp/ja/news/news_240304.html

UTokyo Global Unit Coursesの対面コース開始

UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC) は、グローバルキャンパス推進本部 (現・グローバル教育センター) が2021年度に開始した、世界に開かれた全学レベルの授業料徴収型短期受入プログラムです。

東京大学の教員が英語で集中形式の講義を行うこのプログラムには、世界中から選考を通過した学生が集まり、例年6月半ばから7月末にかけて、1～2週間のコースを単数または複数履修します。

2023年度からは、それまでのオンラインコースに加え、キャンパスに学生を迎える対面コースを開始したことにより、受講者は延べ300名ほどにのぼり、世界に向けた東京大学の有効かつ持続的なプロモーションにも繋がっています。



▶ 詳細は p. 18へ

アジア女性大学との学生交流プログラム



アジア女性大学 (Asian University for Women, AUW) はチッタゴン (バングラデシュ) にあるリベラルアーツ型の大学で、南アジアの女性に高等教育で学ぶ機会を提供しています。東京大学では、2021年度から合同短期プログラムを実施し、ジェンダーや移民・難民・避難民問題について両大学の学生が共に学んできました。

2023年度は初めて両大学での約2週間の対面プログラム実施が実現し、サマープログラムではAUWの学生が東京大学を訪問し、ウィンタープログラムでは東京大学の学生がチッタゴンにあるAUWのキャンパスを訪問しました。

▶ 詳細は p. 23へ

GO GLOBAL 東大留学フェア2023

2023年5月27日に、コロナ禍を経て4年ぶりに対面で「GO GLOBAL 東大留学フェア2023」を駒場キャンパスで開催しました。延べ1,700名の来場があり、盛況のうちに終了しました。本フェアは、学部初期段階の学生を主な対象として、海外留学・国際交流の意義や重要性、それに対する東京大学の提供機会や制度の概要を伝える機会とすること、海外留学等に対する早期の動機づけを行うとともに、各学生が修学を設計する早い段階で、海外留学等の計画を考慮できるよう支援することを目的としています。

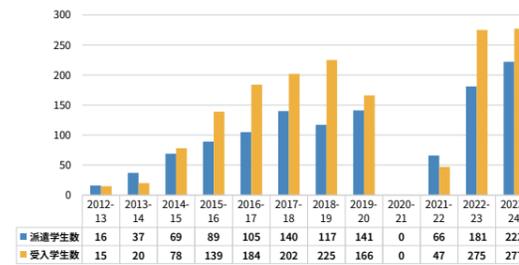
当日は、全体説明会、諏訪理氏 (世界銀行勤務・JAXA新宇宙飛行士候補) による特別講演、加藤美和氏 (国連薬物・犯罪事務所 事業局長) による特別講演、個別相談会、サマープログラム説明会等を実施しました。



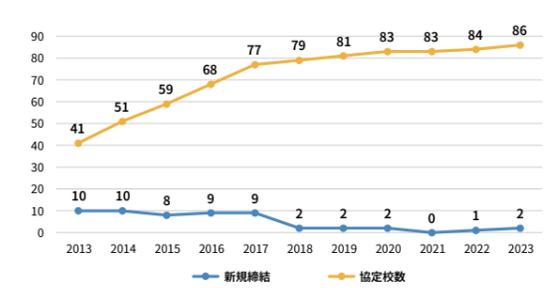
全学交換留学 (USTEP) 協定校一覧

全学交換留学 (University-wide Student Exchange Program, USTEP) は、東京大学と東京大学の協定校との間で、全学レベルで学生の派遣・受入を行う留学プログラムです。詳細はそれぞれ14ページ (USTEP/東京大学から協定校への学生派遣)、16ページ (USTEP/協定校から東京大学への学生受入) をご覧ください。

■ 全学交換留学 派遣/受入学生数の推移



■ 協定校数推移



アジア

- 台湾** 国立陽明交通大学、国立台湾大学
- バングラデシュ** アジア女性大学
- 中国** 復旦大学、南開大学、南京大学、北京大学、上海交通大学、清華大学、浙江大學
- 香港** 香港科技大学、香港大学
- インドネシア** ガジヤマダ大学、インドネシア大学
- 韓国** 高麗大学校、浦項工科大学校、ソウル大学校、延世大学校
- マレーシア** マラヤ大学
- フィリピン** フィリピン大学
- シンガポール** ナンヤン工科大学、シンガポール国立大学
- タイ** チュラロンコン大学

中近東

- トルコ** ボアジチ大学
- イスラエル** エルサレム・ヘブライ大学

北米

- カナダ** マギル大学、ブリティッシュ・コロンビア大学、トロント大学、ビクトリア大学
- 米国** ジョーンズ・ホプキンス大学、ノースイースタン大学、ノースウェスタン大学、プリンストン大学 (大学院)、プリンストン大学 (学部)、スワースモアカレッジ、カリフォルニア大学サンタクルーズ校、イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校、ワシントン大学、イェール大学 (Fox International Fellowship Program)

中南米

- ブラジル** サンパウロ大学
- チリ** チリ・カトリック大学、チリ大学
- メキシコ** エル・コレヒオ・デ・メヒコ、メキシコ国立自治大学

オセアニア

- オーストラリア** オーストラリア国立大学、モナシュ大学、アデレード大学、メルボルン大学、クィーンズランド大学、シドニー大学、ニューサウスウェールズ大学
- ニュージーランド** オークランド大学、オタゴ大学

ヨーロッパ

- デンマーク** コペンハーゲン大学
- フィンランド** ヘルシンキ大学
- フランス** EHESS (社会科学高等研究院)、エコール・ポリテクニク、パリ政治学院、グルノーブル・アルプ大学、ストラスブール大学
- ドイツ** ベルリン自由大学、ミュンヘン・ルートヴィヒ=マクシミリアン大学、ケルン大学
- アイルランド** トリニティカレッジ・ダブリン、ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン
- イタリア** ローマ大学ラ・サピエンツァ
- オランダ** ライデン大学、フローニンゲン大学
- ロシア** サンクトペテルブルク大学
- スペイン** マドリード自治大学
- スウェーデン** スウェーデン王立工科大学、ルンド大学、ストックホルム大学、ウプサラ大学
- スイス** スイス連邦工科大学チューリッヒ、ジュネーヴ大学、チューリッヒ大学
- 英国** ダラム大学、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス、ロンドン大学東洋アフリカ学院、グラスゴー大学、マンチェスター大学、シェフィールド大学、ウォーリック大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、エクセター大学、サウサンプトン大学

2023年度末時点で、交換留学を実施するために東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載しています。

国際交流部門

東京大学からの学生派遣

全学交換留学 (USTEP/東京大学から協定校への学生派遣)

USTEPには、どの学部・研究科の学生でも応募することが可能です。東京大学が授業料を徴収せずに協定校の学生を受入れる代わりに、東京大学の学生は東京大学に授業料を納めれば、留学先での授業料を支払わずに協定校で授業を履修したり、研究指導を受けたりすることができます。2023年度は秋学期・春学期合わせて222名を派遣しました。

2023年度派遣実績

■ 秋学期 (2023年8～10月開始)

国・地域	大学名	人数
台湾	国立台湾大学	2
中国	浙江大学	1
中国	北京大学	3
香港	香港大学	2
香港	香港科技大学	1
韓国	ソウル大校	4
韓国	延世大校	1
シンガポール	シンガポール国立大学	6
シンガポール	ナンヤン工科大学	2
ブラジル	サンパウロ大学	1
トルコ	ボアジチ大学	1
カナダ	トロント大学	5
カナダ	ビクトリア大学	1
カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学	6
カナダ	マギル大学	5
米国	イェール大学 (Fox International Fellowship Program)	1
米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	6
米国	カリフォルニア大学サンタクルーズ校	3
米国	ジョンズ・ホプキンス大学	2
米国	スワースモアカレッジ	2
米国	ノースイースタン大学	3
米国	プリンストン大学 (学部)	3
米国	プリンストン大学 (大学院)	1
米国	ワシントン大学	3
オーストラリア	アデレード大学	1
オーストラリア	クィーンズランド大学	3
オーストラリア	シドニー大学	2
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	5
オーストラリア	メルボルン大学	2
オーストラリア	モナシュ大学	3
ニュージーランド	オークランド大学	2
デンマーク	コペンハーゲン大学	6
フィンランド	ヘルシンキ大学	3
フランス	エコール・ポリテクニク	2
フランス	グルノーブル・アルプ大学	2
フランス	EHESS (社会科学高等研究院)	2
フランス	ストラスブール大学	3
フランス	パリ政治学院	4
ドイツ	ケルン大学	3
ドイツ	ベルリン自由大学	1
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学	3
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	1
イタリア	ローマ大学ラ・サピエンツァ	1
オランダ	フローニンゲン大学	1
オランダ	ライデン大学	4

国・地域	大学名	人数
スウェーデン	ウプサラ大学	4
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	6
スウェーデン	ストックホルム大学	2
スウェーデン	ルンド大学	4
スイス	ジュネーブ大学	4
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	9
スイス	チューリッヒ大学	3
英国	ウォリック大学	4
英国	エクセター大学	1
英国	グラスゴー大学	2
英国	サウサンプトン大学	1
英国	シェフィールド大学	4
英国	ダラム大学	5
英国	マンチェスター大学	4
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	6
英国	ロンドン大学東洋アフリカ学院	3
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス	2
合計		183

■ 春学期 (2024年1～2月開始)

国・地域	大学名	人数
台湾	国立台湾大学	1
中国	北京大学	1
韓国	高麗大校	1
フィリピン	フィリピン大学	1
シンガポール	ナンヤン工科大学	2
米国	ワシントン大学	1
オーストラリア	アデレード大学	4
オーストラリア	オーストラリア国立大学	2
オーストラリア	シドニー大学	1
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	2
オーストラリア	メルボルン大学	2
オーストラリア	モナシュ大学	2
ニュージーランド	オークランド大学	1
ニュージーランド	オタゴ大学	3
フランス	ストラスブール大学	1
ドイツ	ケルン大学	2
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	3
スウェーデン	ルンド大学	2
スイス	ジュネーブ大学	2
英国	サウサンプトン大学	2
英国	シェフィールド大学	2
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	1
合計		39

全学交換留学 (USTEP) 関連イベント

留学と就活に関する座談会

グローバル教育センターの学生スタッフ (USTEP経験者) が企画し、2023年6月21日に開催しました。USTEPへの参加を検討中の学生が、留学・就活経験者と話して情報収集を行ったり、交流したりできる機会を提供しました。



2023-24 USTEP派遣予定学生、受入学生 対面交流会

グローバル教育センターの学生スタッフ (USTEP経験者) が企画し、2023年6月23日、27日に開催しました。本交流会はUSTEP派遣予定学生と受入学生との交流を目的としたもので、渡航前の派遣予定者同士のネットワーキングの機会や、派遣予定者が東京大学に留学中の学生とのつながりを作る場を提供しました。

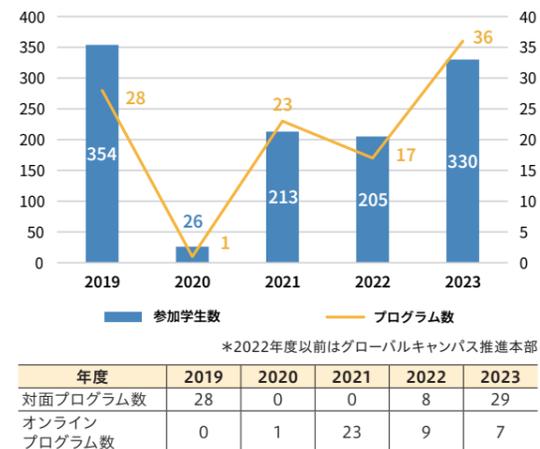
全学交換留学 (USTEP) 対面交流会

グローバル教育センターの学生スタッフ (USTEP経験者) が企画し、2023年11月30日に開催しました。留学経験者の学生、これから留学に行く学生、留学に興味がある学生たちが集まり、留学経験者の話を聞き、情報交換を行うなどの交流の場を提供しました。

全学短期派遣プログラム

グローバル教育センターが担当する全学短期派遣プログラム (2～4週間) には、夏季休業期間中に実施されるサマープログラムと、春季休業期間中に実施されるウィンタープログラムがあります。条件を満たす学生には奨学金を支給し、より長期で専門的な留学への準備や動機づけとなる機会を提供することを目的としています。東京大学が海外大学と連携し、東京大学の学生のために企画・運営するプログラムや、協定校のプログラムを東京大学の学生向けにカスタマイズして実施するプログラムがあり、語学学習、講義、フィールドワーク、現地学生との交流、文化体験等さまざまな活動が行われます。そのほか、東京大学の協定校や東京大学が加盟する大学連合が実施するプログラム等にも多くの学生を派遣しています。

■ グローバル教育センター*を通じて募集した短期派遣プログラムの参加学生数・プログラム数の推移



■ 2023年度グローバル教育センター担当サマー・ウィンタープログラム参加学生数

プログラム種別	派遣先大学	参加学生数
サマープログラム	シェフィールド大学	39
	ウォリック大学	40
	チュラロンコン大学	25
	キングモンクット王立工科大学トンブリ校	7
ウィンタープログラム	カリフォルニア大学サンディエゴ校	33
	アデレード大学	40
	オタゴ大学	34
	浙江大学	23
	パリ政治学院	13
合計		254

国際交流部門

海外大学等からの学生受入

全学交換留学 (USTEP/協定校から東京大学への学生受入)

USTEPの受入には、学部学生を対象としたType Uと、大学院学生を対象としたType Gの2種類があります。Type U生はグローバル教育センターに所属し、グローバル教養科目や各学部で開講されているさまざまな授業を履修することができます。Type G生は各大学院に所属し、授業を履修または研究室にて研究活動を行います。2023年度はSセメスター・Aセメスター合わせて280名を受入れました。

2023年度受入実績

■ Sセメスター (2023年4月開始)

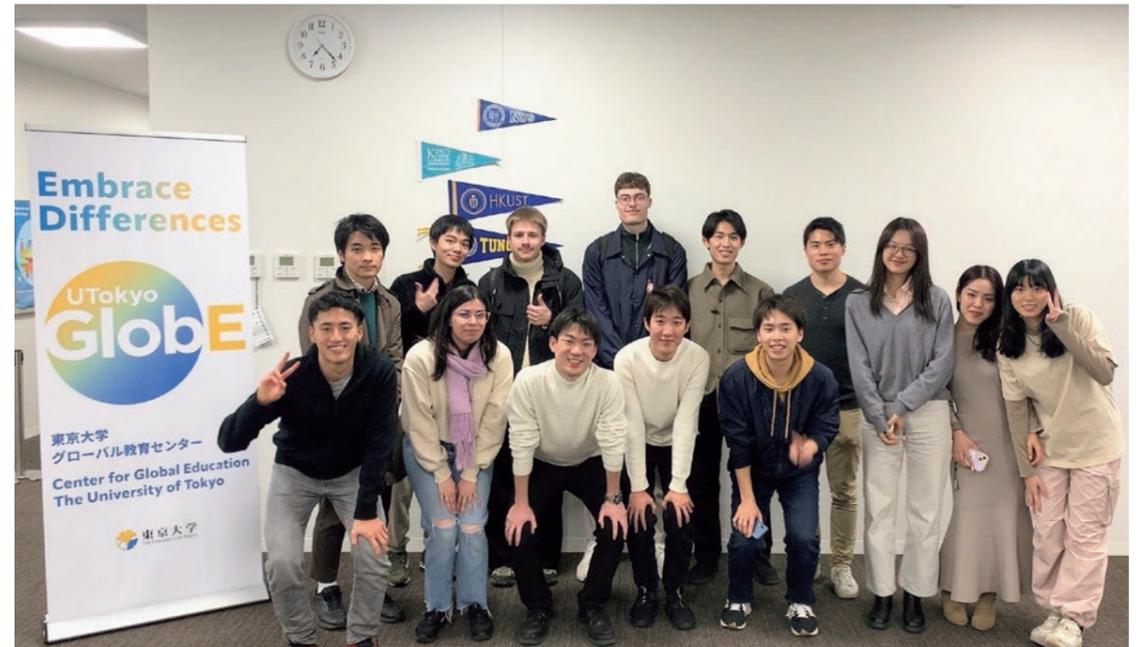
国・地域	大学名	人数		人数
		Type U	Type G	
台湾	国立陽明交通大学		1	1
中国	南京大学	2		2
中国	清華大学	1		1
香港	香港科技大学	4		4
インドネシア	ガジャマダ大学	3		3
インドネシア	インドネシア大学	1		1
韓国	浦項工科大学校	1		1
韓国	ソウル大学校	1		1
マレーシア	マラヤ大学	1		1
シンガポール	ナンヤン工科大学	3		3
シンガポール	シンガポール国立大学	8		8
チリ	チリ・カトリック大学	2		2
メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	1		1
カナダ	マギル大学	1		1
カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学	5		5
カナダ	トロント大学	3		3
カナダ	ピクトリア大学	1		1
米国	ノースイースタン大学	6		6
米国	プリンストン大学		1	1
米国	スウァスモアカレッジ	1		1
米国	カリフォルニア大学サンタクルーズ校	1		1
米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	5		5
米国	ワシントン大学	3		3
オーストラリア	オーストラリア国立大学	2		2
オーストラリア	モナシュ大学	3		3
オーストラリア	アデレード大学	2		2
オーストラリア	メルボルン大学	4		4
オーストラリア	クィーンズランド大学	3		3
オーストラリア	シドニー大学	2		2
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	1		1
ニュージーランド	オークランド大学	1		1
トルコ	ボアジチ大学	2	1	3
デンマーク	コペンハーゲン大学	2	3	5
フィンランド	ヘルシンキ大学	1		1
ドイツ	ケルン大学		1	1
アイルランド	トリニティカレッジ・ダブリン	2		2
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	3		3
オランダ	フローニンゲン大学	1		1
ロシア	サンクトペテルブルク大学		2	2
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学		4	4
スウェーデン	ルンド大学	1		1
スウェーデン	ストックホルム大学	3		3
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	2	6	8
スイス	ジュネーブ大学	1	1	2
スイス	チューリッヒ大学	1		1
英国	マンチェスター大学	1		1
合計		92	20	112

■ Aセメスター (2023年9月/10月開始)

国・地域	大学名	人数		人数
		Type U	Type G	
台湾	国立陽明交通大学	1		1
台湾	国立台湾大学	2		2
中国	復旦大学	4		4
中国	南京大学	2		2
中国	北京大学	1	2	3
中国	上海交通大学	3		3
中国	清華大学	2	1	3
中国	浙江大学	5	1	6
香港	香港科技大学	3		3
香港	香港大学	2		2
韓国	高麗大学校	2		2
韓国	ソウル大学校	2		2
韓国	延世大学校	4		4
マレーシア	マラヤ大学	3		3
シンガポール	シンガポール国立大学	3		3
チリ	チリ大学	3		3
カナダ	マギル大学	2		2
カナダ	プリティッシュ・コロンビア大学	2		2
カナダ	トロント大学	2		2
米国	ジョンズ・ホプキンス大学	2		2
米国	プリンストン大学	1	1	2
米国	スウァスモアカレッジ	3		3
米国	カリフォルニア大学サンタクルーズ校	2		2
米国	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	1		1
米国	ワシントン大学	5		5
オーストラリア	オーストラリア国立大学	3		3
オーストラリア	モナシュ大学	2		2
オーストラリア	アデレード大学	2		2
オーストラリア	メルボルン大学	5		5
オーストラリア	クィーンズランド大学	3		3
オーストラリア	シドニー大学	2		2
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	2		2
ニュージーランド	オークランド大学	2		2
ニュージーランド	オタゴ大学	1		1
トルコ	ボアジチ大学	1		1
デンマーク	コペンハーゲン大学	5		5
フィンランド	ヘルシンキ大学	4		4
フランス	EHESS(社会科学高等研究院)		1	1
フランス	エコール・ポリテクニク	1		1
フランス	グルノーブル・アルプ大学	1		1
フランス	ストラスブール大学	1		1
ドイツ	ベルリン自由大学	1		1
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学	2		2
ドイツ	ケルン大学		1	1
アイルランド	トリニティカレッジ・ダブリン	2		2
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	2		2
イタリア	ローマ大学ラ・サピエンツァ	1		1
オランダ	ライデン大学	2	1	3
オランダ	フローニンゲン大学	4		4
スペイン	マドリッド自治大学	2		2
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	1	1	2
スウェーデン	ルンド大学		4	4
スウェーデン	ストックホルム大学	1		1
スウェーデン	ウプサラ大学	4		4
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	1	6	7
スイス	ジュネーブ大学	2	1	3
スイス	チューリッヒ大学	1		1
英国	ダラム大学	5		5
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス	3		3
英国	グラスゴー大学	2		2
英国	ウォーリック大学	2		2
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	7		7
英国	エクセター大学	2		2
英国	サウサンプトン大学	4		4
合計		148	20	168

USTEP Partners

USTEP Partnersは、学生同士が自発的に国際交流を行う機会を提供することを目的として、2023年Aセメスターから始まった新たな試みです。東京大学の学生がUSTEP生の「パートナー」となり、日本での学生生活に慣れるためのサポートの提供、より充実した留学生活を送るための交流イベントの企画・実施、互いに親睦を深めるためのグループ活動などを行います。

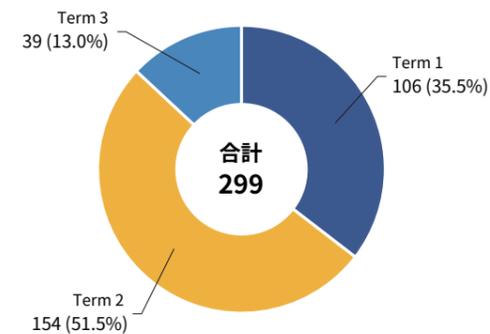


UTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC)

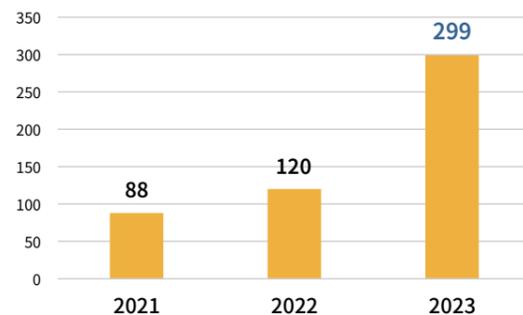
2023年度開講コース一覧

開講時期	コースタイトル	担当教員
Term 1	AI for Understanding Human Intelligence	長井 志江 特任教授
	Early Language Acquisition: How Human Infants Learn Language Within Their Social Environment	辻 晶 講師
	Sustainability, Social Justice and Resource Management	石原 広恵 准教授
	Survival Japanese (Beginner Level)	前原 かおる 講師 (コーディネーター)
	Communication Strategy in Japanese Conversation (Advanced Level)	前原 かおる 講師 (コーディネーター)
Term 2	Capitalism and the Senses	久野 愛 准教授
	Contemporary Japanese Politics	Kenneth Mori McElwain 教授
	Dilemmas of Development in Asia	佐藤 仁 教授
	Group Theory and Its Applications: Introduction to Beautiful Modern Mathematics	伊藤 由佳理 教授
	Sustainable Urban Management	栗栖 聖 准教授
	AI and Social Justice	板津 木綿子 教授
	Survival Japanese (Beginner Level)	前原 かおる 講師 (コーディネーター)
	Japanese Kanji for Kanji Background Students (Intermediate to Advanced Level)	前原 かおる 講師 (コーディネーター)
Term 3	Law in Transnational East Asia	松原 健太郎 教授
	Science of Light: From Fundamentals to Advanced Technologies	岩本 敏 教授
	Writings About Japan: Analyzing Cultural Representations, From Orientalism to Artificial Intelligence	矢口 祐人 教授

2023年度の延べ受講者数



年度ごとの延べ受講者数



2023年度受講者の所属大学所在国・地域

アジア	中国、シンガポール、台湾、日本、韓国、インド、タイ
中南米	ブラジル
北米	米国、カナダ
オセアニア	オーストラリア、ニュージーランド
中近東	トルコ
ヨーロッパ	英国、ドイツ、デンマーク、ルーマニア、オランダ、ベルギー



UTokyo Amgen Scholars Program

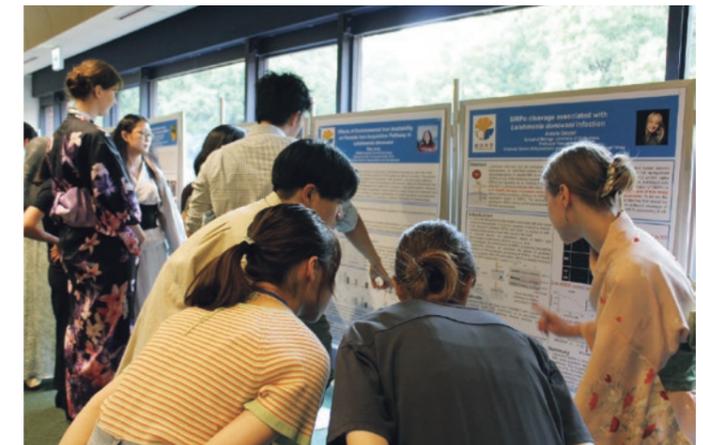
UTokyo Amgen Scholars Programは、アムジェン財団（米国）の寄附により未来の科学者・イノベーションの育成を目的として、主に科学とバイオテクノロジー分野を専攻する学部学生を対象に、世界25の大学/機関において研究体験を提供する8週間の夏季インターンシッププログラムです。

東京大学でのプログラム参加者は、期間中全員が同じ宿舎に滞在し、理系大学院/研究所の研究室において最先端の研究に携わり、研究発表や小旅行等に参加します。プログラム終了後には、アジア圏の4大学合同シンポジウムに参加し、研究発表のほか、他大学プログラム参加者と交流します。2023年度は39名の学生が東京大学でのプログラムに参加しました。

受入部局	受入研究室 (受入学生数)
医学系研究科	尾藤 晴彦 教授 (2)、廣瀬 謙造 教授 (1)、Meng Ling Moi 教授 (1)、岡田 康志 教授 (2)、竹田 誠 教授 (1)、上田 泰己 教授 (1)
工学系研究科	Horacio Cabral 准教授 (1)、古川 克子 准教授 (1)、津本 浩平 教授 (1)、中川 桂一 講師 (1)、岡本 晃充 教授 (1)、高鍋 和広 教授 (3)
理学系研究科	Robert Campbell 教授 (1)、合田 圭介 教授 (1)、磯部 寛之 教授 (1)、小林 修 教授 (1)、岡田 康志 教授 (1)
農学生命科学研究科	藤原 徹 教授 (1)、後藤 康之 教授 (2)、片岡 直行 准教授 (1)、永田 宏次 教授 (2)、高橋 伸一郎 教授 (1)、田野井 慶太郎 教授 (2)、山内 啓太郎 教授 (2)
薬学系研究科	竹内 恒 教授 (2)
生産技術研究所	池内 与志穂 准教授 (1)、Soo Hyeon Kim 講師 (2)、松永 行子 教授 (1)、南 豪 准教授 (1)

2023年度参加学生の内訳

所属大学所在国・地域	人数
米国	13
インド	6
英国	6
シンガポール	2
日本	2
カナダ	2
中国	1
韓国	1
ベトナム	1
カザフスタン	1
マレーシア	1
ウクライナ	1
ブラジル	1
メキシコ	1
合計	39



グローバル教養科目 (Global Liberal Arts Courses, GLA)

グローバル教養科目 (GLA) は、グローバル教育センターが2023年度から提供している授業科目です。2023年度はSセメスター 7科目、Aセメスター 24科目を提供し、累計294名 (約半数が USTEP生) が受講しました。また、2023年度はウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受け入れプログラム」により東京大学で学んでいる学生のGLA履修を受け入れ、Sセメスター 5名、Aセメスター 2名が履修しました (いずれものべ数)。

更に、通常の授業に加え、授業担当教員が参加する国際教育部門会議 (合計4回実施) を行い、授業テーマや成績評価、履修者数増加等に関する議論を行ったほか、教員による自発的な授業検討ワークショップも開催しました。

2023年度 開講科目数

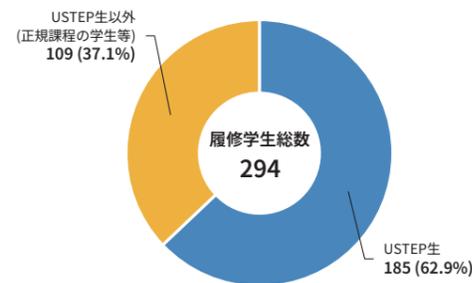
31 Sセメスター：7科目
Aセメスター：24科目

2023年度 履修学生総数

294



履修学生の比率



紹介動画の視聴は
こちらから



2023年度開講科目一覧

セメスター	番号	担当教員	コースタイトル
Sセメスター	1	Tito Akindele	Chemistry for a Sustainable World
	2	神島 智子	Allocating Resources in Health Care Fairly
	3	Anna Bordilovskaya	Diversity in Japanese Culture and Language
	4	James Ellinger	DIY and Open Science
	5	Manuel Senna	Underground and Clandestine Media
	6	Raquel Moreno-Penaranda	The "SDGs" Contested
	7	Tom Gally	The Problems of English in Today's World
Aセメスター	1	Naomi Berman	Research and Inquiry for Social Change
	2	Aurora Tsai	Racial and Linguistic Diversity and Inclusion
	3	Sylwia Ejmont	Invisible Connections
	4	Stefanie Mack	Climate Repair
	5	John Quayle	A Post-Mortem of the COVID-19 Crisis
	6	Tom Gally	The Meaning of Language in the Age of AI
	7	Incoronata (Nadia) Inserra	Material Culture, Public History, and Social Change: Current Debates on Monuments Around the World
	8	John Solomon Maninang	Bioactive Components in Food—Implications on Food Safety and Public Health in a Changing Environment
	9	Ian Wash	Introduction to Poverty and International Development
	10	Alex Bueno	What is Nature?: Humanity and the Landscape
	11	John Pazdziora	Reading Children, Reading Childhood
	12	Isaac Tyrone Ghampson	Catalytic Processes for a Sustainable World
	13	船田 なつの	Globalisation and English as an International Language: Exploring the Plurality of Englishes
	14	Eric Vanden Bussche	Maps, Border Disputes, and Conflict in East Asia
	15	Alexandra Terashima	Model Organisms in Biomedical Research
	16	Graham Peebles	The Later Wittgenstein: Language & Meaning
	17	Doris Zhang	Intercultural Communication
	18	Dennis Stromback	Engaging Japanese Philosophy for Today's Global World
	19	Simon Perry	Sociolinguistics in a Global Society
	20	Catherine Hansen	Writing About Gaming: Game Studies as Social Practice
	21	Candler Hallman	A Critical History of Terrorism
	22	Christopher Nicklin	Language Acquisition
	23	Greg Dalziel	The Attention Economy: Social & Political Perspectives
	24	Richard Dietz	Poverty and Famines: Perspectives from Psychology, Economics, History, and Philosophy

国際総合力認定制度 (Go Global Gateway, GGG)



国際総合力認定制度 (Go Global Gateway, GGG) は、すべての東京大学学部学生の国際的な学習や交流の機会への参加を後押しする制度です。東京大学は「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力」を国際総合力と名付け、大学生活を通じてすべての学生にこの力を伸ばしてもらいたいと考えています。本制度はすべての学部学生の国際的な学びや体験を積極的に奨励します。あらかじめ決められた条件を満たすと、大学から「国際総合力認定証」が授与されます。

国際総合力認定制度主催イベント

米国ラトガース大学の学生との交流イベント

2023年7月13日に、GGGに登録する学生と、米国ラトガース大学の学生との交流イベントを開催しました。ともに昼食をとり、その後矢口グローバル教育センター長による講義を受講し、ディスカッションを行いました。

講義終了後はともに都内散策に出かけ、楽しい時間を過ごしました。



アクティビティレポート執筆ワークショップ

2023年10月に、GGGの登録学生を対象に、駒場キャンパス・本郷キャンパスにて、アクティビティレポート*執筆ワークショップを開催しました。ワークショップでは、冒頭で下山田 特任講師(グローバル教育センター)がアクティビティレポートの承認条件や書き方をレクチャーし、その後参加者たちはそれぞれレポートを執筆しました。GGG担当教職員がその場で参加者のレポートをチェックし、フィードバックを行うことで、すべての参加者が、それぞれ1つ以上のレポートの承認をワークショップ中に受けることができました。



*アクティビティレポートとは：

さまざまな国際的な活動(例：外国語で開講される授業、留学プログラム、国際交流イベント等)に参加したあとに学生が執筆する短いレポート。国際総合力認定制度において認定を受けるためには、3つ以上のアクティビティレポートを提出し、承認を受けることが必須となっています。

国際総合力認定制度主催 短期海外派遣プログラム

アジア女性大学 (Asian University for Women, AUW) との学生交流プログラム

● サマープログラム

2023年8月1日から10日にかけて、AUWから10名の学生を受入れ、東京大学の学生11名と共にサマープログラムを実施しました。また、10日間の総まとめとして、シンポジウム“Empowering Migrants, Immigrants, and Refugees”を開催しました。シンポジウムの基調講演者には土井香苗氏(ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表)をお迎えし、学生たちは活発なディスカッションを行いました。学生たちはプログラム終幕に別れを惜しみながらもまたの再会を約束し、AUWの学生は、シンポジウム翌日にバングラデシュに帰国しました。



● ウィンタープログラム

2024年2月24日から3月3日にかけて、チッタゴン(バングラデシュ)に位置するAUWのキャンパスにて、ウィンタープログラムを実施しました。東京大学から15名、AUWからは16名の学生が参加し、AUWの先生方による講義をとおして、本プログラムのテーマである移民、難民、避難民を取り巻くさまざまな課題について学びました。講義のほかにも、バングラデシュの多様性を感じる宗教施設、バングラデシュの主要産業の1つである衣類縫製の工場等へのサイトビジットを行いました。東京大学で開催したサマープログラムに続き、東京大学とAUWの学生たちは多くの時間を共に過ごし、相互理解と友情を育みました。

東京大学—プリンストン大学合同プログラム

2024年3月9日から19日にかけて、東京大学とプリンストン大学が“People and Culture of Japan in the United States: Past, Present, and Future”をテーマとしたウィンタープログラムを合同で実施しました。東京大学からはGGGの認定を受けた8名の学部学生が、プリンストン大学からは5名の学部学生が参加し、東京大学ニューヨークオフィス、ラトガース大学、プリンストン大学で共に学びました。



ニューヨーク滞在中、両大学の学生は米国内のさまざまなフィールドで活躍する方々の講義を聞き、ディスカッションでは積極的に意見を交わしました。

留学生と国内学生の交流



Evening Gathering at UTokyo GlobE Student Plaza #1

2023年7月5日、国際交流を目的とするイベント“Evening Gathering at UTokyo GlobE Student Plaza #1”を開催しました。ウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受入れプログラム」により受入れた学生・研究者11名と国際総合力認定制度（Go Global Gateway, GGG）に登録する28名が集まり、浴衣の着用体験や参加者同士の懇談を行いました。初めて身に着けた浴衣を楽しむ参加者の笑顔が印象的でした。

Lunch Gathering at UTokyo GlobE Student Plaza #1

2023年10月31日の昼休みに、国際交流を目的とするイベント“Lunch Gathering at UTokyo GlobE Student Plaza #1”を開催しました。留学生6名とGGGに登録する学部学生7名が集まり、ハロウィーンにちなんだ折り紙作りを通して相互理解を深めました。イベントは終始和やかな雰囲気でした。



浜離宮恩賜庭園ツアー

2023年11月29日、東京大学の学生の国際交流を目的として浜離宮恩賜庭園ツアーを開催しました。ウクライナ人学生5名（ウクライナ侵攻を受けた「学生・研究者の特別受入れプログラム」により受入れた学生を含む）とGGGに登録する学部学生8名が参加し、庭園散策および茶道体験を行いました。



彭澳 “Under the Ginkgo Tree”
(Under the Table賞 受賞作品)

GlobEフォトコンテスト

GlobEフォトコンテストは、東京大学の学生と教職員を対象に実施している、写真とエッセイをセットとしたコンテストです。

第1回となる2023年度は“Embrace Differences”と“東大での日常”の2つのテーマで作品を募集しました。54件の応募から、Embrace Differences賞2名、Into a Sea of Diversity賞1名、Under the Table賞1名、Breakthrough賞1名を選出しました。

Talk & Share! ～あなたの好きなXXXは？ “Ep.1 マンガ”

2023年12月13日、東京大学の留学生と国内学生の交流会「Talk & Share! ～あなたの好きなXXXは？ “Ep.1 マンガ”」を行いました。使用言語は主に日本語とし、マンガ好きな人、日本語で交流したい留学生を対象に、好きなマンガを持ち寄って、学生同士でじっくり、楽しく語りあう場を設けました。留学生10名と国内学生5名が集まり、それぞれの推しのマンガについて熱いトークが繰り広げられました。



留学生支援室

留学生が日本での生活に慣れ、充実した学生生活を送ることができるよう各種支援、ネットワーキングの機会の提供を行っています。

①留学生やその学内関係者向けの各種相談や情報提供、問い合わせ対応

異文化/心理的適応、学業・研究、キャリア・日本での就職、人間関係、生活上のトラブル、日常生活に関する手続き等について、日本語、英語、中国語によるサポートを行っています。心理面の支援においては、相談支援研究開発センター各窓口など、学内相談窓口等とも連携しています。

②交流プログラムの運営

留学生が学内外の人々と出会い、日本社会とのつながりを深められるよう、言語交換プログラム、中国語茶話会、国内学生との交流会、地域企業の方々との日本語交流会を開催しています。

●留学生対象のオリエンテーション(4月・10月)、フォローアップオリエンテーション&本郷キャンパスツアー

春・秋の入学時期に、学内外での生活に関する情報を日本語、英語、中国語で提供しています。入学から一段落した時期には、在学生の協力も得ながら、新たな疑問や情報を確認するフォローアップも行っています。オリエンテーション、フォローアップオリエンテーションを合わせ、Sセメスター139名、Aセメスター188名が参加しました。



●言語交換プログラム(Sセメスター・Aセメスター)

学内学生同士が、言語を学び合いながら交流を深めるプログラムです。交流希望言語、所属キャンパス、趣味等をもとに、オンライン掲示板からパートナーを探します。交流希望言語として、留学生は日本語を、国内学生は英語を希望する人が多いです。今年度は、575名の学生が参加しました(留学生281名、国内学生294名)。



●中国語茶話会(通年)

留学生と国内学生が交流する場として、隔週(本郷キャンパス)、月1回(柏キャンパス)開催しています。学生生活、趣味、進路等幅広い話題について、中国語、日本語、英語等で話し合い、交流を深めています。今年度は26回開催し、延べ137名(留学生108名、国内学生29名)が参加しました。



③留学生の就職支援

企業ブース出展によるジョブフェアなどの大規模事業から、小〜中規模の知識提供型オンラインセミナー、ガイダンスまで、留学生がグローバル人材としての能力を発揮できるよう、さまざまな内容の事業を行っています。大規模事業については、キャリアサポート室とも連携しています。

個別相談も実施しており、日本での就職にかかる留学生特有の留意点や、日本語での就職活動に対する不安を持つ留学生へのサポートも行っています。



●大規模事業

留学生のためのジョブフェアI・II(2024年1月22日・23日、キャリアサポート室共催)

就職活動中の留学生・研究者を対象として、2日間にわたり実施。計17社が出展、両日で201名の学生と研究者がグローバル教育センター学生交流広場に集まりました。

Link to the World—外資系企業を知るためのGlobal Career Fair—(2023年10月24日・2024年1月24日、キャリアサポート室共催)

対面およびオンラインで2日間にわたり実施した外資系企業フェア。両日で計19社が出展、242名の学生と研究者が参加し、各国/地域の実情、外資系企業が求める能力や人材像について理解を深めました。

留学生が日本で働くということ—企業人事の人と本音でディスカッション(2023年11月16日)

就職活動中の留学生と、企業の人事担当者、東京大学や他大学を卒業した元留学生との対話型ワークショップシンポジウム。人事プロフェッショナルのパネルディスカッションや、留学生が日本企業や日本での働き方に対して抱く疑問点について、企業の方々からアドバイスするグループワークを行います。54名の留学生が、10社27名の部長職・若手社員の方々の生の声に耳を傾けました。

●参加&交流型セミナー

留学生Careerゼミ「先輩留学生から聞く—就職活動の経験談&交流会」(2023年9月12日)

日本での就職やグローバルな働き方を目指す留学生、キャリアを迷っている留学生向けに東京大学の留学生OB・OG、内定中の留学生を招き、自分らしいキャリアプランを考えるきっかけを提供するセミナー。

Global Career Workshop「就活の「道具箱」を作る—Create Your Own Toolkit—」(2024年2月9日)

自己分析・自己PR、キャリアビルディングを考えるためのワークショップ型セミナー。

●知識提供型ガイダンス・セミナー

留学生のための就職ガイダンス—これから就活・インターンシップ編—(通年)

日本での就職活動の概要、留学生特有の留意点(在留資格等)、インターンシップの調べ方など、就職活動についてゼロから学ぶセミナー。年間を通じて、複数回実施しています。

Key Skills for Career Success 2023(2023年10月3日)

昨今、重要性を増しているオンライン上での自己PR、ブランディングを学ぶセミナー。

業界を代表する個別企業の方々を招いたセミナー(通年、対面およびオンライン)

日本語教育部門

日本語教育部門（通称・日本語教育センター）は、所属学部・研究科・研究所等を問わず、東京大学のすべての留学生、外国人研究者等を対象に、日本語コースを提供しています。配偶者の方が受講可能なコースもあります。

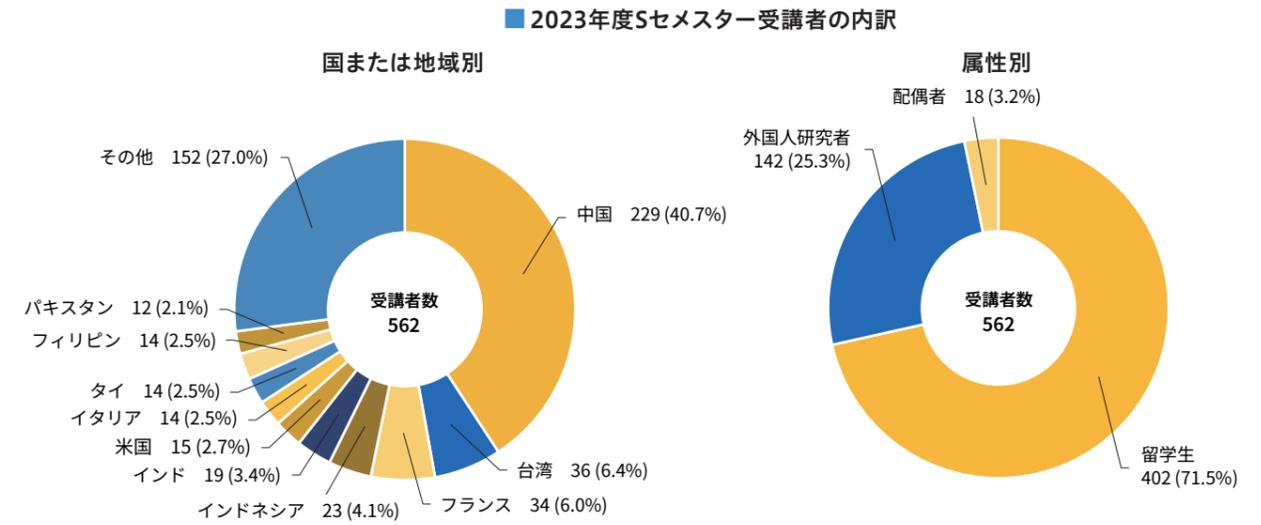
レベルは入門者から上級者向けまで幅広く、また学習期間等多様に設定し、ニーズ・学習スタイル・効率・ゴールを十分に考慮したコースの設計と運営を行っています。学内の各キャンパスからの受講のしやすさを考えて、授業はすべてオンラインで行っています。

なお、海外の大学等に在学する学生を主な対象として短期的に開設する国際短期プログラムに参加する学生のみなさんにも、日本語学習のコースを提供しています。

2023年度提供コース・受講者数一覧

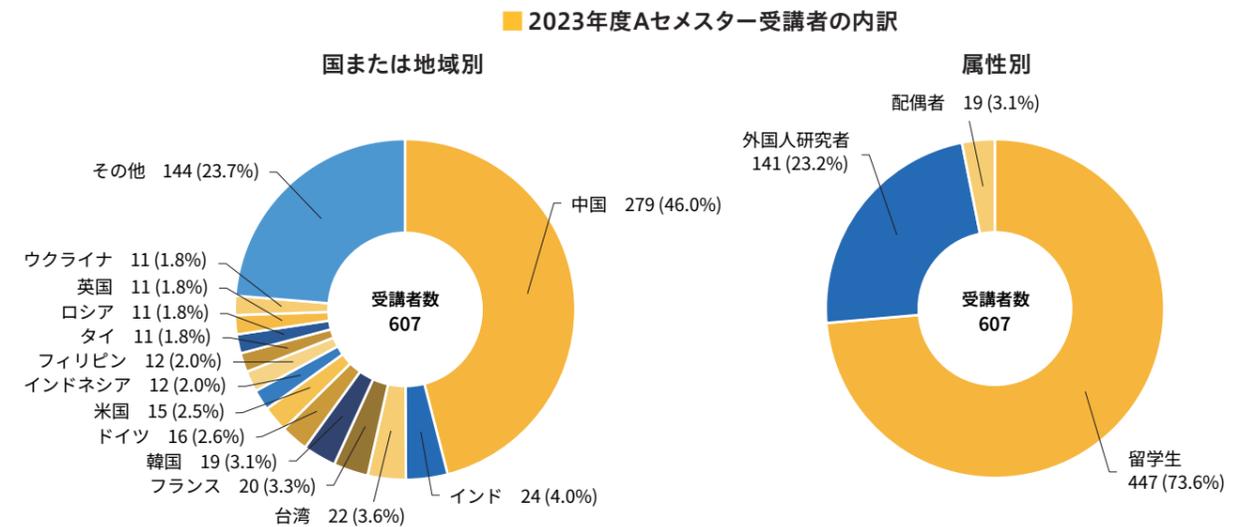
対象者	コース名他	Sセメスター		Aセメスター		合計	
		受講者数	コース数	受講者数	コース数	受講者数	コース数
学内構成員	一般日本語コース	358	20	388	22	746	42
	集中日本語コース	32	4	21	3	53	7
	短期日本語コース	73	8	68	5	141	13
	日本語スポット講座	99	9	130	10	229	19
	個別指導	89	—	102	—	191	—
学外者	国際短期プログラム向け各種コース	82	8	0	0	82	8

- **一般日本語コース**：忙しい留学生たちが週に数回日本語を学ぶためのコース。初級から上級までの各クラスのほか、「漢字」、「中級会話」等のクラスがあります。
- **集中日本語コース**：短期集中的に学習したい留学生のためのコース。レベルごとにポイントとなる内容をコンパクトに学習します。初級から中上級まで各クラスがあります。
- **短期日本語コース**：毎週定期的にクラスに通えない人や、来日時期がずれた人のための、不定期に開講する1週間のコース。初級から上級までの各クラスがあります。
- **日本語スポット講座**：特定のテーマで1日～数日間だけ開講する講座。会話や漢字など、特定の内容に特化しているため、自身のレベルや関心に合わせて選んで受講することが可能です。
- **個別指導**：日本語教育センターの教員が、予約制で個別に1枠30分で日本語の指導を行います。日本語学習上の相談に応じたり、会話練習を行ったりします。
- **国際短期プログラム向け各種コース**：短期的に開設する国際短期プログラムに参加する学生を対象に、日本語学習のコースを提供しています。2023年度はUTokyo Global Unit Courses (UTokyo GUC)、UTokyo Amgen Scholars Program、University of Tokyo Research Internship Program (UTRIP/東京大学大学院理学系研究科が実施) 向けに日本語コースを実施しました。



2023年度学内構成員向け日本語コース 総受講者数

1,169名



グローバル教育センター駒場支部は、駒場地区（総合文化研究科・教養学部、数理科学研究科、生産技術研究所、先端科学技術研究センター）所属の留学生、外国人研究者および全学交換留学(USTEP)プログラムで来日し駒場キャンパスで学ぶ学生のサポートを行っています。具体的には、英語での新入留学生生活オリエンテーションや学生による駒場キャンパスツアーを実施したり、PEAK*1生に対する区役所での手続きや銀行口座開設サポートを行ったり、英語でのカウンセリングを提供したりしています。このほか、留学生、外国人研究者と国内学生が交流できるよう国際交流/日本文化体験イベントも年間を通して開催しています。

*1 PEAK: Programs in English at Komaba (英語で学士号が取得できるプログラム)

2023年度に実施したイベント

新入留学生オリエンテーション・駒場キャンパスツアー (2023年4月・9月・10月)

2023年4月には、GPEAK*2、KOMSTEP*3、USTEP生を対象とした生活オリエンテーションと学生による駒場キャンパスツアーを英語で実施しました。76名の参加があり、オリエンテーション後は、18名の学生ガイドと参加者がグループに分かれ、和やかな雰囲気です駒場キャンパス内を回りました。

また、秋は9月と10月の2回に分けて、PEAK、GPEAK、KOMSTEP、USTEP生を対象とした生活オリエンテーションと学生による駒場キャンパスツアーを英語で実施しました。184名の参加があり、30名の学生ガイドが工夫を凝らして駒場キャンパス内を案内しました。

*2 GPEAK (Graduate Programs in English at Komaba) : 英語で修士・博士号が取得できるプログラム
*3 KOMSTEP (Graduate School of Arts and Sciences/College of Arts and Sciences Student Exchange Programs) : 総合文化研究科および教養学部と海外の大学との部局間レベルでの交流プログラム



ドッジビー&交流会 (2023年5月・10月)

毎semester恒例のドッジビー&交流会イベントですが、スポーツを通して言葉の壁を越えて交流できるイベントとして人気があります。5月は65名の参加者が楽しく交流しました。

また、10月は77名の参加者がリーグ戦でドッジビーに興じ、その後の交流会でも楽しく交流しました。体を動かして

ストレス発散もでき、新しい出会いの場にもなったようです。

歌舞伎鑑賞教室 (於: 国立劇場、2023年6月)

歌舞伎についての簡単な説明とこれから見る演目の見どころも聞いてから歌舞伎鑑賞ができるという人気のイベントでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため一時中断しており、2023年度は4年ぶりにこのイベントへの参加を再開しました。

会場内ではマスク着用を推奨し、受付でも必要に応じてマスクを配付するなど、感染症対策を取りながらの実施でしたが、久しぶりに劇場に向き50名の参加者が歌舞伎を鑑賞し、参加者同士が対面で交流するよい機会となりました。



盆踊り&七夕交流会 (2023年7月)

日本文化を体験しつつ身体を動かし参加者同士が交流できるイベントとして毎年実施しています。2023年度は、コロナ禍後初めての完全対面開催として実施し、76名の参加者が、東京音頭と炭坑節を踊りました。交流会でも久しぶりに個別包装の軽食、お菓子を提供することができ、おにぎりやサンドイッチをほおぼりながら楽しそうに談笑している参加者の姿が印象的でした。



気功・太極拳ワークショップ (2023年7月・2024年2月/ハイブリッド開催)

メンタルヘルスに関するイベントは、引き続きオンラインでも参加できるよう、ハイブリッドでの開催としました。2023年7月に開催されたワークショップでは、オンライン、対面での参加者33名が、講師の先生の明るい掛け声に合わせて気功と太極拳を体験しました。

また、2024年2月に開催されたワークショップには、オンライン、対面合わせて31名が参

加しました。最後に太極拳の音楽をかけて、それまで練習した動きを通して行う時間を持つことができ、より達成感や満足感が得られるワークショップとなりました。

文楽鑑賞教室 (於: シアター 1010、2023年12月)

国立劇場が建替え工事に入るため、外部の会場を借りての開催となりました。駒場キャンパスから北千住のシアター 1010まで一緒に移動する参加者も多く、道中1時間程度、新しく知り合った学生同士が話をしながら移動することができました。なかなか自ら文楽を見に行くことは難しいため貴重な機会だと感じた留学生も多く、日本文化を紹介するよい機会となりました。47名が参加しました。

マインドフルネス・ワークショップ (2023年12月/ハイブリッド開催)

オンライン、対面合わせて42名が参加しました。「このワークショップのお蔭でリラックスでき、ストレスから解放された」「新しい視点で一日を送れる気がした」「優しい気持ちになれた」等の感想が寄せられ、満足度の高いイベントとなりました。



留学生や外国人研究者、教職員を含む多様な構成員が安心して快適なキャンパス生活を送るため、さまざまな活動を行っています。住居支援や生活サポート、日本文化体験や交流イベントの企画、英語学習支援、職員向け勉強会の開催等、多岐にわたるサービスを提供し、優れた研究と教育が行われる環境の整備に尽力しています。

日本文化体験・交流事業では、近隣ボランティア団体と連携して学内外向けの文化イベントや交流プログラムを実施するなど、キャンパスの国際化を推進するとともに、地域連携窓口としての役割も担っています。

また、英語学習支援の一つとしてEnglish Discussion Clubを運営しており、専攻や部門を超えた交流を通じて、参加学生の交友関係の拡大だけでなく、国際感覚の向上も目指しています。

2023年度に実施したイベント

リサイクルバザー (2023年4月・10月)

毎年4月と10月の Semester 初めに、新入留学生および外国人研究者を対象に生活用品を無料で提供するイベントを開催しています。寄付品は東京大学の構成員や学外のボランティア団体、近隣住民から提供されます。自転車や調理家電等の人気物品は抽選制、その他は個数制限なしで提供しています。4月には37名が、10月には39名が参加しました。



1対1交流プログラム 交流会 (2023年6月)

2023年度の1対1交流プログラム新規登録者向けの交流会を開催し、32名が参加しました。1対1交流プログラムは、柏キャンパスで学ぶ留学生や外国人研究者・教職員、その家族と日本人ボランティアが1対1で交流するものです。

座食形式で軽食を楽しみながら自由な歓談と簡単なゲームを行いました。参加者同士の交流が盛んに行われ、ゲームを通じて共通点を見つける喜びもありました。交流会後

には数名が交流相手を見つけた報告もあり、新たな友人関係が築かれるよい機会となりました。

歌舞伎鑑賞教室 (於：国立劇場、2023年6月)

外国人が日本文化に触れる機会として、国立劇場で開催されている歌舞伎鑑賞教室に団体で参加しています。2023年度は40名が参加し、また日本人学生ボランティア5名の協力を得て、歌舞伎の前後にオブショナルツアーを企画し、参加者同士の交流を促しました。



英語落語 (2023年11月)

学外ボランティア団体と東京大学柏図書館の協力のもと、文化交流事業として開催されたイベントです。54名が参加しました。ストーリーは中学英語レベルで語られ、シンプルで理解しやすい構成となっています。熟練した演者が扇子と手ぬぐいだけを使い、観客を魅了し、会場は笑いに包まれました。多くの留学生を含む参加者が日本の伝統的な話芸を楽しみました。

日本文化研修バスツアー (2024年3月)

2023年度の日帰りバスツアーは、参加者が日本文化に触れ、日本への理解を深めることを目的として、日光東照宮を含む世界遺産周辺を訪れました。40名が参加し、歴史的・文化的な名所を通じて、古くから人と自然が共生し、信仰や芸術が織りなす日本の魅力を体感しました。研究室や部局を越えた交流と、日本人学生との貴重な交流の場となりました。



和太鼓体験教室 (2024年3月)

日本文化理解を深める国際交流事業として、和太鼓体験教室を開催しました。雨天のため柏図書館メディアホールで実施しました。ラジオ体操から始まり、24名の参加者は60分の体験で東京音頭を完成させ、盆踊りも楽しみました。講師による丁寧な指導のもと、参加者は充実した時間を過ごしました。

English Discussion Club (通年)

年間を通して、毎週火曜日 (オンライン) と木曜日 (対面) に活動しています。2023年度は114名が登録しました。



ランチタイムイベント“ You Teach, We Learn!” (通年)

お昼休みに不定期に開催される国際交流イベントで、2023年度にはオンラインと対面合わせて計5回開催されました。主に留学生や外国人研究員が発表者となり、母国の言語や文化を紹介します。発表後は和やかな雰囲気での交流が行われます。

中国語茶話会

学内の留学生と日本人学生が交流する場として、留学生支援室と柏支部が共同で主催するものです。2023年度は中国の年中行事に合わせて計5回開催されました。

その他のイベント

- 図書館ディスプレイ“Visual of Japan”
- ランチイベント“ You Teach, We Learn!” (自転車修理)
- 若手研究者向け交流会“Kashiwa Connect and Share”

東京大学全体の学生の国際的流動性

海外への派遣学生数、海外からの受入学生数

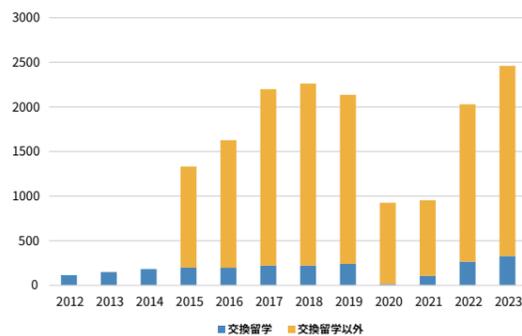
ここで示す派遣・受入とは、学生が一時的に所属元の大学を離れ、協定校等において、学位取得を目的とせず留学プログラム等に参加する形態を指します。

派遣学生：交換留学やサマープログラム等により短期間（1年以内）東京大学から海外に派遣される学生

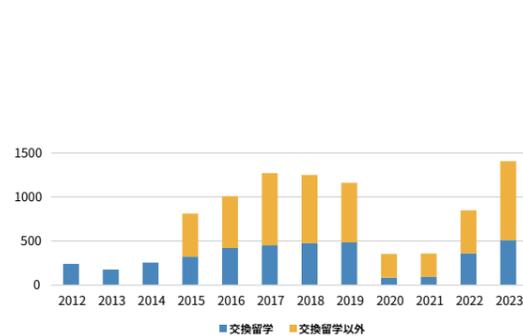
受入学生：交換留学やサマープログラム等により短期間（1年以内）海外から東京大学に受入れる学生

年		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
派遣学生数	交換留学	112	149	182	199	197	220	221	240	15	107	266	329
	交換留学以外 (サマープログラム等)	-	-	-	1,133	1,430	1,978	2,040	1,895	910	846	1,762	2,131
	合計	112	149	182	1,332	1,627	2,198	2,261	2,135	925	953	2,028	2,460
受入学生数	交換留学	241	176	255	323	420	451	475	484	84	92	360	511
	交換留学以外 (サマープログラム等)	-	-	-	488	589	820	775	677	270	266	489	895
	合計	241	176	255	811	1,009	1,271	1,250	1,161	354	358	849	1,406

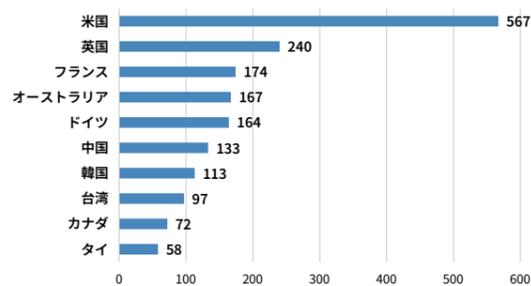
■ 派遣学生数の推移



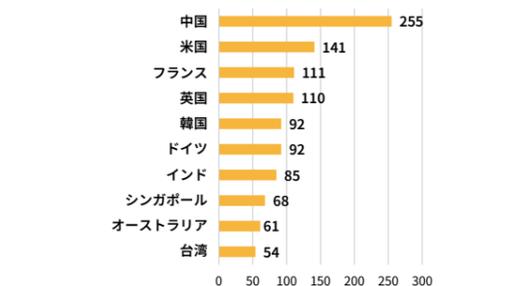
■ 受入学生数の推移



■ 派遣学生の派遣先 上位10ヶ国・地域 (2023年度実績)



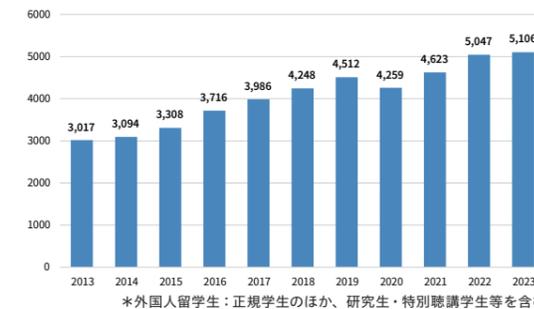
■ 受入学生の所属大学等所在地 上位10ヶ国・地域 (2023年度実績)



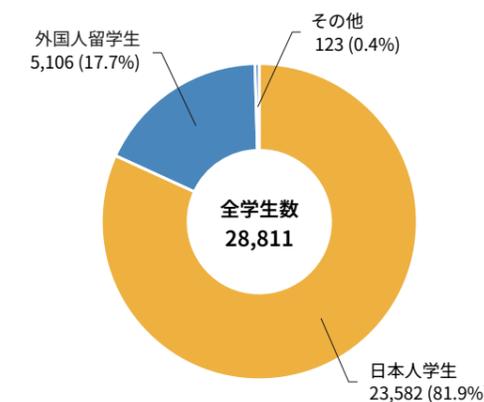
東京大学全体の外国人留学生数

(2023年11月1日)

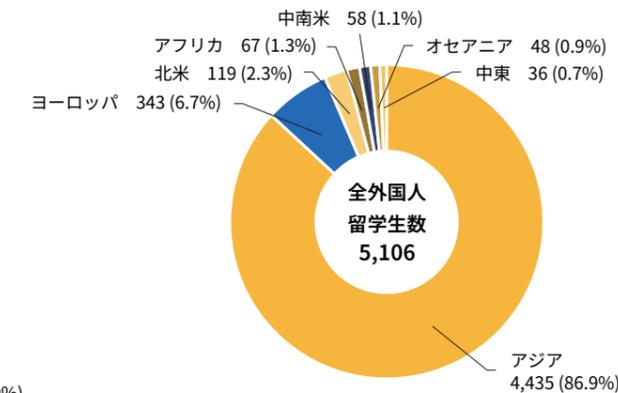
■ 外国人留学生*数の推移



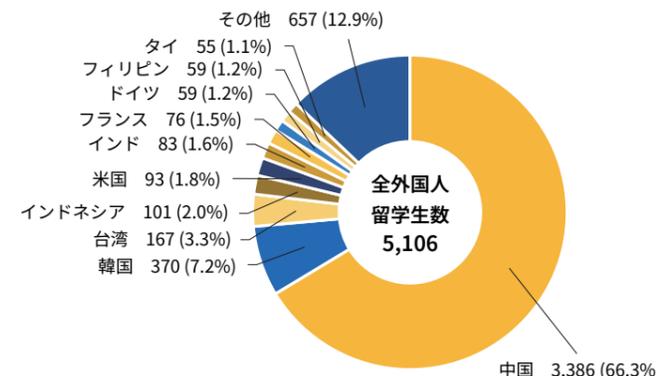
■ 全学生数に対する外国人留学生数の比率



■ 外国人留学生地域別内訳



■ 外国人留学生国または地域別内訳



■ 外国人留学生種別内訳

